

学校だより

あ お ぎ り

No. 1 4

平成23年2月28日

須崎市立森上小学校

児童会バトンタッチ

17日(木)に児童総会が行われ、今年度の活動の反省が行われました。

来年度へ向けての意見・要望がたくさん出されましたが、どれも核心を突いた内容で、日頃から関心をもって見たり聞いたり、実際に活動したりしていないと出てこない意見ばかりでした。児童会をもっと良いものにしたいという子どもたちの意識や意欲が感じられ、来年度につながるものになったと思います。

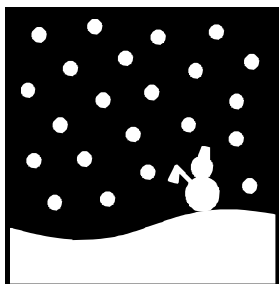
その後、引き継ぎが行われ、活動は6年から5年へバトンタッチされました。

9日(水)に行われた児童会長選挙の結果、右記のように正副会長が決まっています。伝統ある児童会を、さらに充実したものになるよう、全員協力してがんばってほしいです。



新会長	丸山佳菜子さん
副会長	勝山 侑さん
副会長	小林 和真さん

青桐児童会 伝統の力



2月13日(日)と15日(火)の朝は、両日とも20cmくらいの積雪がありました。

両日とも、南横町の除雪隊の皆さんが早朝より学校に集まり、校庭の倉庫に格納してある除雪機を出し、歩道及び昇降口前の雪かきをしてくださいました。15日の雪は多少湿っていて重くもあったので、雪かきではなかなか片付かず、除雪機でやっていただいていたで大変助かりました。

作業が終わる頃、隊長さんが、「児童会は、今でもありますか。」と質問されました。「はい、あります。青桐児童会という名前で、みんな一生懸命活動しています。」と答えたところ、次の隊長さんのお話にびっくりしました。

「そうですか。実は、『青桐児童会』という名前は、私が昭和27年に児童会長をしていた時につけた名前なんです。みんなに『自分たちの学校の児童会』という気持ちをもってもらいたくて、校章の青桐にちなんだ名前をつけたのです。まだ、使っていてくれたんですね。嬉しいです。」

昭和27年というと1952年ですから、59年前です。命名のいきさつが分かって嬉しかったのと、かつて児童会長で活躍した子どもさんが大人になり、またこうして学校のために力を貸してくださっているのが分かって感動しました。

今年、すでに除雪隊の方には3回出動していただいています。大雪の朝を迎えるたび、学校が地域の皆様の手で支えられていることの有り難さをかみしめて参りましたが、児童会活動がその根っこの部分を形成してきたのだと考えれば、「青桐児童会はすごい!」ということになります。実際に、4年以上の子どもたちは、毎回、朝の雪かきに進んで協力してくれました。隊長さんの後を受け継ぐ子どもたちが、確実に育っています。